

令和3年度（2021年度）

市政モニター アンケート結果

テーマ1 「多文化共生のまちづくり」について

市民活動推進部 多文化共生推進課

テーマ2 「八王子らしい魅力ある景観づくり」について

まちなみ整備部 まちなみ景観課

テーマ3 「公共施設マネジメントの取組」について

契約資産部 資産管理課

八王子市

あなたのみちを、
あるけるまち。

 **八王子**

目 次

《市政モニターの属性》	1
-------------	---

テーマ1 「多文化共生のまちづくり」について

問1 「多文化共生のまちづくり」をどのように思うか	2
問2 八王子市が外国人も安心して暮らせるまちと思うか	3
問3 自分の国際感覚が豊かになったと感じるか	3
問4 外国人の相談窓口「在住外国人サポートデスク」を知っているか	4
問5 市内に外国人が増えていくことをどのように考えるか	5
問6 外国人に関連して困った経験はあるか	6
問6-1 困ったことはどのようなことか	6
問7 「多文化共生のまちづくり」を進めるために何ができると思うか	7
問8 「多文化共生のまちづくり」を進めるために市はどのようなことに力を入れるべきか	8
問9 「多文化共生のまちづくり」に関するご意見(自由記述)	9

テーマ2 「八王子らしい魅力ある景観づくり」について

問1 景色や風景、まち並みに関心はあるか	11
問2 市の豊かな自然、歴史、文化などが、お住いの地域やまちの景観に活かされていると思うか	12
問3 八王子らしさを感じる景観として、特に大切にしていきたいと思うものは何か	13
問4 八王子の景観を損ねていると感じるものは	14
問5 お住いの身近な地域で「良い」と感じている景観は	15
問6 お住いの身近な地域で「良くない」と感じている景観は	16
問7 身近な地域の景観づくりで、どのようなものであれば取り組みたいと思うか	17
問8 市は、今後どのような景観施策に力を入れていくべきだと思うか	18
問9 本市が景観に配慮されたまちであると思うか(その理由)	19

テーマ3 「公共施設マネジメントの取組」について

問1 「公共施設更新問題」を知っているか	24
問2 「八王子市公共施設白書・公共施設マネジメント基本方針」、「八王子市公共施設等総合管理計画」を知っているか	24
問3 「八王子市公共施設マネジメント基本方針」の6つの柱の進め方について	25
問4 「八王子市公共施設等総合管理計画」の3つの目標の進め方について	26

問5 学校施設の複合化にあたって考え方の近いものは……………	27
問6 学校施設を活用してできればよいと思う活動等は(自由記述)……………	28
問7 公共施設の「重要度・必要度」と「利用頻度」について……………	29
問8-1 公共施設を利用しない理由……………	32
問8-2 重要(必要)と思う公共施設の存続のために協力できること……………	33
問8-2-1 公共施設の存続のためにあきらめてよいと思うサービスは……………	34
問9 対面によるコミュニケーションを前提とした公共施設に関し、考え方の近いものは……………	35
問10 公共施設マネジメントの進め方について(自由記述)……………	36

市政モニターの属性

(太枠内は今回の回収数)

全 体		郵送		インターネット		合計	
		47	45	53	50	100	95
性別	男性	24	22	26	25	50	47
	女性	23	23	27	25	50	48
年代	18歳～29歳	2	2	9	7	11	9
	30歳代	4	4	8	8	12	12
	40歳代	12	12	9	9	21	21
	50歳代	6	6	14	13	20	19
	60歳～64歳	5	4	7	7	12	11
	65歳以上	18	17	6	6	24	23
地区	中 央 (本庁地区)	7	7	8	8	15	15
	西南部 (浅川・横山・館地区)	10	9	8	7	18	16
	東 部 (由木・由木東・南大沢地区)	9	9	12	12	21	21
	西 部 (元八王子・恩方・川口地区)	8	8	5	4	13	12
	東南部 (由井・北野地区)	10	9	12	11	22	20
	北 部 (加住・石川地区)	3	3	8	8	11	11

(定員は100名)

※ アンケート実施期間:令和3年(2021年)9月10日から令和3年(2021年)9月30日まで

※ 回収率:95%(小数点第2位を四捨五入)

※ 回答は各質問の回答者数(n)を基数とした百分率(%)で表示した。(百分率は、小数点以下第2位を四捨五入して算出してあるため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の場合は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。)

※ 割合の表現については、以下の表記を基本とする。

<例>

表記	4割	約4割	4割強	4割台半ば	5割近く	5割弱
割合	40.0%	40.1～40.9%	41.0～43.9%	44.0～45.9%	46.0～48.9%	49.0～49.9%

※ 自由記述の表現はできる限り原文のまま記載しているが、アンケート全体で統一するため、一部表現を修正している。また、特定の個人、団体への誹謗中傷につながる内容や企業の営業活動に影響するもの、根拠が明確でないものなどは、一部削除・修正した。

テーマⅠ「多文化共生のまちづくり」について

市民活動推進部 多文化共生推進課

市では、平成 25 年(2013 年)3月に多文化共生推進プランを策定し、外国人市民も日本人市民も、誰もが暮らしやすいまちづくりを進めています。

本市で暮らす外国人市民は13,000人を超え、国際結婚により生まれた人や、海外からの帰国者など、日本国籍であっても外国文化を背景に持つ人も増えています。平成 31 年(2019 年)4 月には、改正入管法の施行により、新たな在留資格が創設されるなど、多文化共生に関する環境が変化してきました。

そこで、本市がめざす「多文化共生のまちづくり」について、市政モニターの皆様のご意見をお伺いします。

※多文化共生とは…

国籍、民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくことをいいます。

問1 あなたは、「多文化共生のまちづくり」について、どのように思いますか。 (○は1つだけ)
(n=95)

	構成比(%)
必要である	68.4
どちらかといえば必要である	22.1
どちらかといえば必要ない	6.3
必要ない	0.0
わからない	3.2

多文化共生のまちづくりについてどう思うか聞いたところ、「必要である」が 7 割近く(68.4%)と最も多く、次いで「どちらかといえば必要である」が2割強(22.1%)であった。

問2 あなたは、八王子市が外国人も安心して暮らせるまちだと思いますか。

(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
そう思う	18.9
どちらかといえばそう思う	45.3
どちらかといえばそうは思わない	11.6
そうは思わない	5.3
わからない	18.9

八王子市が外国人も安心して暮らせるまちか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」が 4 割台半ば(45.3%)と最も多く、次いで「そう思う」「わからない」が 2 割近く(18.9%)であった。

問3 あなたは、自分の国際感覚が豊かになったと感じますか。

(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
豊かになった	7.4
どちらかといえば豊かになった	38.9
どちらかといえば豊かになっていない	21.1
豊かになっていない	23.2
わからない	9.5

自分の国際感覚が豊かになったと感じるか聞いたところ、「どちらかといえば豊かになった」が 4 割近く(38.9%)と最も多く、次いで「豊かになっていない」が2割強(23.2%)であった。

問4 あなたは、外国人のための相談窓口として「在住外国人サポートデスク」(※)があることを知っていますか。

(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
知っていて、利用したことがある	0.0
知っているが、利用したことはない	21.1
知らない	78.9

外国人のための相談窓口として「在住外国人サポートデスク」があることを知っているか聞いたところ、「知らない」が8割近く(78.9%)と最も多く、次いで「知っているが、利用したことはない」が2割強(21.1%)であった。

※在住外国人サポートデスクとは…

市が設置している外国人のための相談窓口です。外国人からの相談はもちろん、外国人に関する日本人からの相談も受け付けています。弁護士や行政書士による個別相談も可能です。

【受付日時】月～土曜日 午前10時～午後5時まで ※祝・休日、年末年始、ビル休館日を除く

【所在地】八王子市旭町9-1 八王子スクエアビル11階 学園都市センター内

【電話】042-642-7091

【委託事業者】特定非営利活動法人 八王子国際協会

問5 外国人市民は今後さらに増えていくことが見込まれますが、市内に外国人が増えていくことについて、あなたはどのように考えますか。

(〇はいくつでも)

(n=95)

	構成比(%)
多様性の豊かなまちになる	55.8
外国の文化にふれる機会が増える	52.6
生活習慣(ごみの出し方やマナーなど)の違いにより、生活環境が悪くならないか心配である	50.5
外国人の知人・友人ができる	30.5
外国人が増えること自体、なんとなく不安に思う	29.5
まちが賑やかになるなど活気がでる	26.3
外国語を学べる機会が増える	17.9
日本語が通じない人が増えることで、不便、不安に思う	10.5
日本の習慣や街並みなどの景観から日本らしさが失われる	7.4
その他	8.4
特にない	1.1

市内に外国人が増えていくことについてどのように考えるか聞いたところ、「多様性の豊かなまちになる」が5割台半ば(55.8%)と最も多く、次いで「外国の文化にふれる機会が増える」が5割強(52.6%)であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 見かけることはあるが、直接接したり、行動する機会はない。
- 治安が悪くならないか心配。
- 良い点も悪い点もある。
- 日本人へのサポートも必要。
- 日本語の喋れない外国人が施設を利用する際、案内などに不都合が出ることもある。実際経験したことで、現在ではスマートフォンの自動翻訳もあるので問題ない可能性もあるが、英語でもとっさに喋ることは難しかった。
- ある会社の社員数人が、他人が所有している駐車場でボール遊びをしているのを何回か見かけた(夜間に勤務先宿舎前で大声で騒いでいることもある)。企業には指導をお願いしたい。
- 宗教、文化、民族的価値観等に触れる機会ができるのは良いが、必ずそこから問題が出てくるのが懸念される。
- 外国人を増やす目的は何か。労働力であれば日本人の元気な高齢者、女性、職に困っている若者を使えば良い。
- 友好、留学と見せかけて、スパイ活動をするような国や反日国からの入国は禁止して欲しい。

- 犯罪が増えそうで不安。
- 外国人によって、日本人の安心・安全な暮らしが脅かされるのであれば反対。

問6 あなたは今までに、外国人に関連して困った経験がありますか。 (○は1つだけ)
(n=95)

	構成比(%)
ある(→問6-1へ)	29.5
ない(→問7へ)	70.5

今までに外国人に関連して困った経験があるか聞いたところ、「ない」が約 7 割(70.5%)であった。

【問6で「1 ある」とお答えの方に】

問 6-1 困ったことはどのようなことですか。 (○はいくつでも)
(n=28)

	構成比(%)
日本語が通じない	53.6
ごみの出し方など基本ルールを理解していない	35.7
日本の習慣を理解してもらえない	35.7
外国人の考え方が理解できない	10.7
部屋からの声や物音、臭いなど	10.7
どのように接したらいいのかわからない	10.7
町会・自治会など地域活動に参加してくれない	3.6
その他	17.9

今までに外国人に関連して困った経験が「ある」と答えた方に、困ったことはどのようなことか聞いたところ、「日本語が通じない」が 5 割強(53.6%)と最も多く、次いで「ごみの出し方など基本ルールを理解していない」「日本の習慣を理解してもらえない」が 3 割台半ば(35.7%)であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 道を聞かれたが、答えられなかった。
- 声が大きいの。

- 電車に乗った際、停車する駅を日本語のみで案内していたので、近くにいた海外の人に伝えようと思ったができなかった。英語の日常会話位できたらと思う。
- 日本語と海外の言葉のニュアンスが微妙に違うので、気持ちの部分が伝わりにくい。日本人同士でもあることだが、注意をしたり、お願いごとをする際の理由について、説明するのが難しい。
- マスク未着用の割合が日本人に比べて外国人が多いと感じる。

問7 「多文化共生のまちづくり」を進めるために、あなたには何ができると思いますか。

(○はいくつでも)

(n=95)

	構成比(%)
やさしい日本語(※)を意識するなど、コミュニケーションを工夫する	69.5
外国人に話しかける(あいさつなど)	47.4
日常の簡単な相談に応じるなど、可能な範囲で支援する	38.9
外国語や外国の文化を学ぶ	31.6
国際交流イベントに参加する	16.8
外国人が地域の行事に参加するよう声掛けする	11.6
外国人を支援する活動に参加する	9.5
その他	2.1
特になし	6.3
【無回答】	4.2

「多文化共生のまちづくり」を進めるために何ができるか聞いたところ、「やさしい日本語を意識するなど、コミュニケーションを工夫する」が 7 割弱(69.5%)と最も多く、次いで「外国人に話しかける(あいさつなど)」が 5 割近く(47.4%)であった。

※やさしい日本語とは…

やさしい日本語は、難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のことです。日本語の持つ美しさや豊かさを軽視するものではなく、外国人、高齢者や障害のある人など、多くの人に日本語を使ってわかりやすく伝えようとするものです。

例： 高台に避難してください → 高いところに逃げてください

【その他】 具体的に記入・入力があった内容

- 日本のことを教えている。
- 折り紙を教えること。

問8 「多文化共生のまちづくり」を進めるためには、市はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。

(〇はいくつでも)

(n=95)

	構成比(%)
日本の文化や生活情報を外国語で知らせる	63.2
外国人への偏見・差別をなくすための努力をする	57.9
日本人と外国人の交流イベントを開催する	49.5
外国人の子どもや留学生へ支援を行う	46.3
外国人も地域活動に参加しやすい環境をつくる	45.3
外国人も意見や提案をしやすくする	37.9
外国の文化や生活情報を紹介する	27.4
NPOやボランティアの育成と支援を行う	26.3
その他	6.3
特になし	1.1

「多文化共生のまちづくり」を進めるためには、市はどのようなことに力を入れるべきと思うか聞いたところ、「日本の文化や生活情報を外国語で知らせる」が6割強(63.2%)と最も多く、次いで「外国人への偏見・差別をなくすための努力をする」が6割近く(57.9%)であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 現在、孫の同級生にハーフの子どもが二人いるが、当たり前のように日本人として接している。外国人として区別されることなく、楽しい学校生活になるよう見守って欲しい。
- 積極的に看板や広報に英語の表記をすると共に、ピクトグラムのようなわかりやすいアイコンもあると良い。日本人も看板はよく目にするので、外国語が記述された看板が目につく場所にあると、多文化共生の街であると認識が深まる。
- 防災無線から流れる声(地震や台風や大雨など避難が必要なとき)を日本語、韓国語、中国語、英語、ベトナム語が流れると良い。
- 外国人にも日本人への偏見・差別をなくす努力をしてもらう。
- 外国語(まずは英語)での会話ができる市民が多くなるよう、学べる機会を増やす。
- 外国人が日本文化に触れあう機会を設ける。

問9 その他、「多文化共生のまちづくり」に関するご意見がありましたら、ご記入ください。

(自由記述)

《周囲の環境整備・サポート》

- 外国から日本へ来た方で、お子さんのいる方には特にサポートが必要だと思う。(40 歳代)
- 幼少期に父の仕事の関係でアメリカに3年移住していたが、多国籍国家であるからか、差別されることはなく、地域社会でも学校でも優しく受け入れられた。日本(八王子)に住んでいる外国の方にも同じように感じてもらうために何かできたらと思うが、今は同じスポーツクラブに通う友人の話し相手になることしかできない。(50 歳代)
- イベント的な活動も良いが、日常生活の中で困っていることを支援したり、子どもたちの母語を大切にしつつ、日本語の支援も行ったりすることが大切。(50 歳代)
- 外国人は近所に住んでいないが、機会があれば関わりたい。(70 歳代)
- 多文化を知ることが最も大切であり、これからの時代は交わり、関わり、参加などが必要。八王子は積極性があると思う。(70 歳代)
- 数年海外で生活した経験があるが、外国人でも住みやすい環境がある程度整っていた。外国人を受け入れてきた時間が長いこともあるが、差別をあまり感じることなく過ごせた。日本も少しずつでも努力すべきと思う。(70 歳代)

《イベント・交流の場への参加》

- わざわざイベント等に足を運ぶのは大変なので、例えば JR 八王子駅改札前等で、月毎に一つの国を取り上げて、その国の様子や文化、八王子に暮らしている人(住んでいる人数だけでもわかると良い)等を紹介する展示コーナーや、その国の食べ物(お菓子)、雑貨、調味料等を売ると面白いかと感じた。(30 歳代)
- 施設に行くのはハードルが高く、交流の場にもなかなか足を運ぶことができない。そこで、小中学生や留学生、福祉施設、病院等などに協力してもらい、メッセージカードや手紙などを交換してはどうか。名前や住所は書かずに市で回収し、それぞれ書いてくれた人に渡す。双方できるだけ簡単な日本語で、今、興味のあること、お薦めのお店や得意な料理のレシピなどなんでも良い。顔はわからなくても、この町にこの手紙を書いた人がいると思えるだけで良い。そこからその人の国や八王子のことを知りたいきっかけの1つになればと思う。(30 歳代)
- 八王子祭りのような大型イベントの運営など、市民との交流の場に参加してもらう機会を増やし、関係性を豊かにできたら良い。(40 歳代)
- 放射線ユーロードで国際色豊かな催しを実施する。大道芸や屋台市場など、様々な国の人々やお店を呼ぶことで盛り上がると思う。(50 歳代)
- 「多文化共生のまちづくり」を進めるには、地域社会の人と接することが大切だと思う。祭りやイベントへの参加を橋渡しすることも必要。私自身は日本語しかできないが、海外の人が困っていたときにジェスチャーで伝え、お互いに喜んだことを思い出す。(70 歳代)

《市の政策・取組》

- 今回のアンケートで「多文化共生推進プラン」のことを知った。プラン策定は 2013 年なのでコロナ禍の前だが、パンデミック等の状況下では多人種地域はリスクも大きく、日本語が通じない外国人の命を守る活動から進めて欲しい。(40 歳代)
- 今は若者を中心に、紙よりもデジタル媒体にて情報を得ている。広報でのアナウンスを多くの人が見ているとは思えないので、ツイッター等の SNS を作り、市民のみに情報発信すると良い。(40 歳代)

- 日本人と外国人の仲介、かけ橋的な役割を市にして欲しい。(40 歳代)
- 「多文化共生のまちづくり」に関する市の活動を、正直、身近に感じたことはない。(50 歳代)
- 「多文化共生のまちづくり」は難しいと思う。(60 歳代)
- 「多文化共生のまちづくり」を行なうためには、まず、日本人の安全で安心が守られることが必要。また、日本人より外国人を優遇するような政策は反対。(60 歳代)
- 日本語を教えるボランティアをしているが、市の施設を利用する際に様々なことを免除してもらえる制度があると有難い。(70 歳代)
- 外国人という「ひとづくり」で考えては問題がある。リード(支援)しなければいけない人、リードして欲しい人など千差万別なので、個々の対応をしっかりと判断すべき。(70 歳代)

《言葉の問題》

- 言葉の壁がある。言葉が理解できれば意思疎通できるようになる。積極的に外国人を受け入れながら、多国語を話せる方や翻訳機などを使って言葉の壁を解決していく必要がある。さらに、外国から来た方はわからないことばかりだから、受け入れる方がより積極的に親切にする必要がある。誰かが法律や条例を守ることなど教えていく必要があり、アプリの開発なども1つの策かもしれない。(50 歳代)
- 今や開かれた国際社会なのに、世界に通じる英語能力が自分を含め日本は低い。学校や公共施設などに外国人を招き、生きた英語を学びながらコミュニケーションを増やし、お互いに解かりあえる世の中になるよう積極的に進めるべき。まずは言葉の壁を取り除くこと。(60 歳代)
- 家族で海外旅行には行くが、私自身、日本で外国人に接する機会がなく、外国語が話せない。(70 歳代)

《治安の問題》

- 治安が悪くなるイメージがあるので、積極的に受け入れたいと思わない。(40 歳代)
- 一部の技能実習生による犯罪が懸念される。(50 歳代)
- 最近、外国人の犯罪が多くなったと思う。多文化共生には受け入れ側の安心感が必要。(70 歳代)

《その他》

- 外国人だけでなく、LGBT に対する理解ある街になって欲しい。同性婚、またはそれ相当の支援が受けられるようになって欲しい。(20 歳代)

テーマ2 「八王子らしい魅力ある景観づくり」について

まちなみ整備部 まちなみ景観課

本市は、「高尾山」や「陣馬山」、「浅川」などの緑と水に恵まれた自然豊かな景観にあふれています。また、古くから宿場町、織物の町として栄え、歴史的・文化的にも貴重な景観を残しています。その一方で、多摩地域の経済・交通の要衝として発展し、商業地や大学、緑豊かな住宅地などの現代的な都市景観も形成されてきました。

市では、平成23年(2011年)に「八王子市景観計画」を策定し、八王子らしい景観づくりを進めるため、市民・事業者・市が協働により良好な景観づくりに取り組んでいます。

計画策定から10年が経過することから、八王子らしい景観づくりを進めるために市政モニターの皆様のご意見をお伺いします。

問1 あなたは、景色や風景、まち並みに関心はありますか。

(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
大に関心がある	53.7
ある程度関心がある	45.3
あまり関心がない	1.1
まったく関心がない	0.0

景色や風景、まち並みに関心はあるか聞いたところ、「大に関心がある」が5割強(53.7%)と最も多く、次いで「ある程度関心がある」が4割台半ば(45.3%)であった。

問2 あなたは、市の豊かな自然、歴史、文化などが、あなたのお住いの地域やまちの景観に活かされていると思いますか。

(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
そう思う	13.7
どちらかといえばそう思う	49.5
あまりそう思えない	33.7
思えない	2.1
わからない	1.1

市の豊かな自然、歴史、文化などが、お住いの地域やまちの景観に活かされていると思うか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」が 5 割弱(49.5%)と最も多く、次いで「あまりそう思えない」が3割強(33.7%)であった。

問3 市全体のことについてお伺いします。あなたが八王子らしさを感じる景観として、特に大切にしていきたいと思うものは何ですか。

(〇は5つまで)

(n=95)

	構成比(%)
高尾山・陣馬山などを市街地から望む山並み	73.7
甲州街道のイチョウ並木	69.5
浅川など市街地を流れる河川	49.5
公園や街路樹などのまちなかの緑	31.6
高尾山のふもとの風景	29.5
歴史を感じる建物	25.3
市街地等を丘陵地や高台から望む眺望	24.2
多摩御陵周辺の風景	22.1
JR八王子駅周辺のまち並み	20.0
多摩ニュータウンのまち並み	14.7
裏高尾や小津などの集落の風景	13.7
甲州街道の商店街	12.6
市街地周辺の加住丘陵や多摩丘陵の緑	10.5
谷戸などの里山風景	10.5
高月などの田や畑の田園風景	5.3
めじろ台などの計画的な住宅街	4.2
店先や個人宅などの手入れの行き届いた庭	3.2
その他	1.1
特にない	0.0

八王子らしさを感じる景観として、特に大切にしていきたいと思うものは何か聞いたところ、「高尾山・陣馬山などを市街地から望む山並み」が 7 割強(73.7%)と最も多く、次いで「甲州街道のイチョウ並木」が 7 割弱(69.5%)であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

○ 完成後の八王子南バイパス道路。

問4 市全体のことについてお伺いします。あなたが八王子の景観を損ねていると感じるものは次のどれですか。

(○は5つまで)

(n=95)

	構成比(%)
電柱・電線・電波塔など	47.4
野ざらしになっている廃棄物やスクラップ	44.2
管理していない空き家・空き地	41.1
放置された自転車や違法駐車	40.0
大きさや色などのデザインが周囲から突出した看板や広告塔	37.9
高さや色などのデザインに統一感のない建物や工作物	30.5
舗装色やガードレールなどの統一感のない道路や橋	18.9
むき出しの資材置き場	16.8
明るすぎる照明や電子看板	15.8
街路樹・緑地などの不足	12.6
放置された農地	11.6
露出した山肌・地肌・法面	5.3
大規模な太陽光パネル	2.1
その他	6.3
特にない	4.2
【無回答】	1.1

八王子の景観を損ねていると感じるものはどれか聞いたところ、「電柱・電線・電波塔など」が 5 割近く (47.4%)と最も多く、次いで「野ざらしになっている廃棄物やスクラップ」が 4 割台半ば(44.2%)であった。

【その他】 具体的に記入・入力があった内容

- 錆びついたガードレールやブロック塀。電柱のように剪定された街路樹。
- 八王子駅南口ロータリー前の古い民家と家の前のガードレール。
- サザンスカイトワーは高層過ぎて景観を壊している。圏央道高尾付近。
- 八王子駅付近の渡り鳥(ムクドリ)の大群と、それを防ぐためのネットや妨害音。
- 八王子駅周辺は特にきれいな街と思えない(景観も道路も全て)。西八王子駅、高尾駅など、どの駅前もきれいさに欠け、全く魅力がない。
- 道路脇の雑草。雑草や粗大ゴミだらけの河川。

問5 あなたがお住いの身近な地域についてお伺いします。「良い」と感じている景観はどれですか。
 (○は3つまで)
 (n=95)

	構成比(%)
公園や緑地の景観	61.1
里山や河川などの自然景観	48.4
まちの雰囲気	33.7
寺や神社などの歴史的な景観	24.2
住宅地やまち並みの景観	23.2
道路の景観	13.7
公共施設や学校の景観	9.5
田や畑などの田園の景観	6.3
マンションなどの集合住宅の景観	5.3
商店街の景観	4.2
その他	1.1
特になし	5.3
【無回答】	4.2

お住いの身近な地域で「良い」と感じている景観はどれか聞いたところ、「公園や緑地の景観」が 6 割強 (61.1%)と最も多く、次いで「里山や河川などの自然景観」が 5 割近く(48.4%)であった。

【その他】 具体的に記入・入力があった内容

※(回答なし)

問6 あなたがお住いの身近な地域についてお伺いします。「良くない」と感じている景観はどれですか。

(○は3つまで)

(n=95)

	構成比(%)
道路の景観	16.8
商店街の景観	15.8
マンションなどの集合住宅の景観	11.6
住宅地やまち並みの景観	10.5
まちの雰囲気	8.4
公共施設や学校の景観	5.3
公園や緑地の景観	2.1
里山や河川などの自然景観	2.1
田や畑などの田園の景観	1.1
寺や神社などの歴史的な景観	1.1
その他	13.7
特にない	45.3
【無回答】	1.1

お住いの身近な地域で「良くない」と感じている景観はどれか聞いたところ、「特にない」が 4 割台半ば (45.3%)と最も多く、次いで「道路の景観」が 2 割近く(16.8%)であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 電柱・電線(2件)
- 交番が駅前にない。少し離れた所にあるが常に駐在していない。
- 不良が多い(小学生・中学生)。
- 道路に落ちているタバコの吸殻やゴミなど。
- 国道が交差しており、車の量が多い。子どもに危ない運転が多い。
- 局所的にみられる雑然とした雰囲気の通りや街並み。
- 自宅前のうっそうとしている緑地。
- 整備しすぎた河川。
- 道幅も広い片側2車線の道路なのに、歩道脇や街路樹の根元から生えている雑草が、歩道を覆い尽くすほど伸び過ぎて歩きにくい。また、歩道沿いの個人宅の生垣・植込みから樹木や植物が伸び過ぎていて、歩道が狭くなり歩きにくい。

- 駅前や道路。
- 夜間の三崎町やその周辺で見られる客引きの人数や状況、雰囲気など。

問7 身近な地域の景観づくりについて、あなたは、どのようなものであれば取り組みたいと思いますか。

(○はいくつでも)

(n=95)

	構成比(%)
落書きやゴミのポイ捨てをしない	81.1
家の周囲を清掃する	70.5
道路や公園の清掃活動に参加する	42.1
生垣や花を植栽するなど家の周囲を緑で演出する	35.8
家を建てる時あるいは改修するときに周辺の街並みとの調和に配慮する	27.4
地域で大切にしている景観資源の保全や活用をする	24.2
景観に関するセミナーや講演会に参加する	11.6
洗濯物を目立たないところに干す	10.5
地域住民として景観の自主的なルールをつくる	8.4
ビルの建設や土地の造成を行う事業者が開催する説明会に参加する	7.4
地域住民の代表として事業者と協議する	3.2
NPOなどで自ら住民の意識啓発を図る取り組みを実施する	3.2
その他	2.1
特になし	0.0

身近な地域の景観づくりについてどのようなものであれば取り組みたいと思うか聞いたところ、「落書きやゴミのポイ捨てをしない」が8割強(81.1%)と最も多く、次いで「家の周囲を清掃する」が約7割(70.5%)であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 造成地に住んでおり、初めは建坪率3割など自治会の規制があったが、市の規制が4割地域であったため、次第に守られなくなった。
- 景観の自主ルールを自ら定める分には問題ないが、他人に強要しないことが前提。

問8 市は、今後どのような景観施策に力を入れていくべきだと思いますか。 (○はいくつでも)
(n=95)

	構成比(%)
歴史的な建物や景観上重要な樹木などの景観資源の保全を進める	70.5
公共施設の新設時などでは景観づくりを先導する魅力的な整備とする	60.0
地域特性に合った基準やルールを策定する	43.2
景観に関する情報を市民に提供する機会を増やす	38.9
条例や景観基準を改定して指導・誘導を強化する	30.5
地域の景観づくりへの資金援助	30.5
景観について建築等を行う事業者と地域住民が話し合える場を設定する	26.3
地域の景観づくりへの専門家派遣などのサポート	21.1
市民・事業者・市が景観について考える協議会などをつくる	20.0
景観づくりのリーダーとなる人材を育てるしくみをつくる	18.9
セミナーなど市民の学習の機会を増やす	16.8
その他	5.3
特になし	2.1

市は、今後どのような景観施策に力を入れていくべきだと思うか聞いたところ、「歴史的な建物や景観上重要な樹木などの景観資源の保全を進める」が約 7 割(70.5%)と最も多く、次いで「公共施設の新設時などでは景観づくりを先導する魅力的な整備とする」が 6 割(60.0%)であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 高尾山や里山だけに頼らず、街中の緑を増やし、他市の人が八王子に住みたいと思うような美しい市街地を目指して欲しい。
- 以前、隣の家の増築が違反であることを市に報告したにもかかわらず、違反はないと言われ争ったことがある。市には適切、公平を守って欲しい。
- 各自治会に協力を要請し、自治会ごとに地域に合った景観作りを会員に呼びかけ、自治会の広報で紹介してもらうなど、市民に身近に感じてもらうと良い。
- 20 代の方は、景観施策に対して様々な機会があっても「行かない」ことが多い。個人によって違うので難しいが、景観に対して明らかな違和感がなければ不満はない。
- 電線、電柱の地中化。

問9 今までのお答えをふまえて伺います。あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。その理由もお書きください。

(○はいくつでも)

(n=95)

	構成比(%)
そう思う	6.3
どちらかといえばそう思う	51.6
あまりそう思えない	26.3
思えない	9.5
わからない	6.3

本市が景観に配慮されたまちであると思うか聞いたところ、「どちらかといえばそう思う」が5割強(51.6%)と最も多く、次いで「あまりそう思えない」が3割近く(26.3%)であった。

【理由】具体的に記入・入力があった内容

《そう思う》

- 自分が生活してきた中で、特におかしいと思った光景はあまりなかった。(20歳代)
- 道路、河川等の植樹がきれいな配置をしている。(40歳代)
- 一部の八王子しか知らないが、歴史的な建造物の保全に努め、緑豊かな市だと思う。(50歳代)
- 総合して美しい街だと思う。(60歳代)

《どちらかといえばそう思う》

- 緑豊かな地域性を活かした、無機質さを感じさせない街並みが整備されている。イチョウ並木の定期的な剪定など、市民にも見える形で景観保全への取組が見られる。(10歳代)
- 住宅街の中や道路沿いに街路樹等植物が多くある印象を受ける。そのため、季節を感じることができる。(20歳代)
- 公園や緑地が多く確保されており、定期的に雑草除去などのメンテナンスも行き届いている。繁華街は多少ごちゃごちゃした景観ではあるが、清掃等のマナーは比較的守られており、景観を損ねているという程ではない。(30歳代)
- 公園の緑が多い。(30歳代)
- 今住んでいるみなみ野エリアには大変満足している。(30歳代)
- みなみ野は全体的に景観が統一されている。(30歳代)
- 他区から引っ越してきたが、緑地や緑道が多く、自然が豊かな街だと感じる。(30歳代)
- 詳しくは分からないが、住宅街にも畑や山が残っているので、市が行っている政策で緑が残っているのなら、配慮していると感じる。(30歳代)
- とにかく電柱が多い。高尾山は住んでいる所から電線越しに見える。(30歳代)
- 新しいものと古いものをうまく利用し、八王子らしい景観となっている所が多くある。(40歳代)
- 自分の居住する地域しかわからないが、八王子駅南口の駅前周辺はキレイになった。(40歳代)
- 緑地を残している。(40歳代)

- 高尾山や整備された街並み。 (40 歳代)
- 都心部と比べると比較的高い建物が少ない。歴史ある文化(祭りなどのイベント)や建物への保全活動。 (40 歳代)
- 甲州街道がキレイに整備されている。 (40 歳代)
- それぞれの地区で趣のある景観である一方、八王子駅周辺は雑然としていて統一感もなく、汚れている感じがする。 (40 歳代)
- 緑が多く、建物も整備されている。歴史的な建物も大切にされていると感じる。 (40 歳代)
- 多摩ニュータウンの土地で暮らしているが、道路は整備され、街もきれいで住みやすい。上柚木公園など緑豊かな公園や競技場、所々にある公園もとても良いと思う。 (40 歳代)
- 降雨の後、公園の樹木が割れて危険だったので、公園の看板に記載された連絡先へ電話をしたところ、2、3日後に割れた樹木は撤去されていた。私が知らないだけで、普段から景観を保全する活動が行われているのを実感した。 (40 歳代)
- 駅の近くは都会的なイメージを受けるが、郊外の自然等の景観は良いと思う。 (40 歳代)
- 自然に見えるが、きちんと手入れをしているのがわかる。 (50 歳代)
- 自分が住んでいる地域の景観は良いと感じる。 (50 歳代)
- 公園が割合多い。 (50 歳代)
- みなみ野に関して言うと、電柱が無く、緑地や道路も統一感があって住みやすい。一方八王子駅周辺はコロナ禍により更に寂れた。南口には崩れそうな家もある。学生にとって魅力的な街となるためには、駅周辺の開発も重要だと思う。 (50 歳代)
- 全体的には八王子の歴史も含めて景観を維持していこうという意思を感じる。高尾山やその麓についてもメディアなどを使い、価値を下げないように景観の維持管理も出来ている。また、甲州街道沿いのイチョウ並木なども維持管理は大変だが、美しい景観を保っていると思う。 (50 歳代)
- 住んでいる地域は公園や緑道などが豊かに整備され、特にコロナ禍においてはウォーキングが行えたこともあって、すばらしさを再確認した。ただ八王子市全域となると、そのようになっていない地域もある。 (60 歳代)
- 八王子は面積も人口も多いので、景観が良い所、そうでない所もあり、全体をより良くするには膨大な資金と市民への税金が重くのしかかってくる。市だけが努力しても困難であり、市民一人ひとりのモラルの向上しか、もはやないのではないかなと思う。 (60 歳代)
- 最近、近くの都道(ニュータウン道路)で無電柱化の工事が始まった。完成すれば、さらに景観に配慮された街になると思う。 (60 歳代)
- 伐採等が定期的に行われていて、好感が持てる。 (60 歳代)
- 他の多摩地域には、これだけ多くの緑に囲まれた地域があまりないので、緑を守る指導をしているように思える。 (60 歳代)
- 多くの緑が守られているので、このまま維持して欲しい。 (60 歳代)
- 高尾山の周りなど、自然を活かした整備を行っている。 (60 歳代)
- 近くの幹線通りは電線の地中下等がされており、景観もすっきり見える。 (60 歳代)
- 緑豊かな街で、周りには整備された広い公園が多くある。心豊かに過ごせる街だと思う。 (70 歳代)
- 街路樹、植栽の管理、草刈等が行き届いている。道路も清潔に保たれている。 (70 歳代)
- 今まで景観についてあまり深く考えたことがなかったが、どちらかといえば配慮されていると思う。以前、テレビで八王子駅南口の前のゴミ屋敷が取り上げられていたが、とても恥ずかしいと思った。 (70 歳代)
- 道路は整備され、外灯も明るい。八王子市は広域で新興の住宅街も多く多様。 (70 歳代)

- 浅川の雑草の草刈。 (70 歳代)
- 街路樹が整備されている。電線の地中化。 (70 歳代)
- 八王子は広いので知らない所も多いが、再開発などを見ると配慮されていると感じる。 (70 歳代)

《あまりそう思えない》

- 住宅地にある空地や緑地に景観を損ねる場所が散見される。 (20 歳代)
- 特別何か行っているようには思えない。 (20 歳代)
- 八王子は他の多摩地区の都市と比べ、景観の統一感に欠ける印象を受ける。 (30 歳代)
- 歩道に配置された電柱、野ざらしにされた草木。 (40 歳代)
- 街並みを見て景観に配慮されていると感じたことがない。 (40 歳代)
- 景観に配慮されている所とそうでない所の差がある。景観も大事だが、子どもたちが通学する道路の危険な所を最優先に整備して欲しい。 (50 歳代)
- 八王子市は広いので仕方がないが、全ての地域に均等に景観配慮の取組の手が回っていないように見受けられる。 (50 歳代)
- 40 年近く住んでいるが、主要ターミナル駅前も市街地も、計画性のない開発が続いている。せっかく広い土地と伝統がある街なのに、その良さが活かされておらず、もったいない。 (50 歳代)
- JR 八王子駅前に八王子らしさを感じたことはない。 (50 歳代)
- 昔よりもシャッターの閉まった商店が多くなった。 (60 歳代)
- 景観を意識した街づくりが計画的に行われている気がしない。あまり統一感があるように思えない。今後増えていくと思われる空き家の管理、対策にも力を入れて欲しい。 (60 歳代)
- 市全体で統一性を感じない。計画性に欠けている感じが拭えない。 (60 歳代)
- 景観や市民生活に役立つ道路の新設など、整備がされていない気がする。 (60 歳代)
- 公団が開発した地域以外の道路は狭く、昔のまま手つかずになっているように感じる。一方、八王子南バイパス道路については、八王子を東西に結ぶ主要な道路となり、景観も良く、車が走りやすくなると思うので、早期全線開通を期待している。 (60 歳代)
- 物流センターの開発や北西部幹線道路など、自然を大切にしている様には思えない。 (70 歳代)
- 公共の建物に使い易さと余裕がない。道路の歩道は車イスが通れない。歩行者すら擦れ違えない。「ただ造れば良い」というものではなく、使う人が「使い易い」ものも、景観の配慮に入ると思う。 (70 歳代)

《思えない》

- 昔からのままだが好き。変にルールなどない方が良い。景観に配慮しない方が良い。 (40 歳代)
- 八王子をこんな景観にしたいという、大きなビジョンや計画性を感じない。 (40 歳代)
- 景観に配慮した施策が打たれていない。重点志向で、市民に見える形で実施すべき。 (40 歳代)
- 八王子駅周辺の新旧入り混じった無秩序に建てられた建設物及び、複数の大型モニターからの大音量と光(映像)。 (50 歳代)
- 新しいビルやマンションが無秩序に建設されているように思う。戸建ての建売り分譲地を見ると、周辺との調和が全くない。 (50 歳代)
- 昔から何も変わらない。 (50 歳代)
- 街路樹の剪定がひどい。けやき通りの樺は電柱のようになった。「あなたのみちをあるけるまち八王子」の道路は、イチョウ並木のように街路樹も美しくして欲しい。 (70 歳代)
- 錆びついたガードレールが放置してある。 (70 歳代)

- 通学路などに面したブロック塀など多く見かける。危険だし、道路の美観を損ねる。補助金などを知らせ、生け垣などを推奨する。 (70 歳代)
- 山の斜面に墓地があるが、墓石がまる見えで、美しかった山の景観が台無し。市として緑化するよう指導を強化して欲しい。 (70 歳代)

《わからない》

- そのような観点で見たことがない。 (30 歳代)
- 意識したことがなかった。 (30 歳代)
- 八王子駅など、交通の中心となる地域でのゴミのポイ捨てが気になる。みんなが街の景観を保つような考えをもてる教育と日々の心がけが必要。 (40 歳代)
- 場所により様々。 (70 歳代)

テーマ3 「公共施設マネジメントの取組」について

契約資産部 資産管理課

市では、『公共施設更新問題』(※)を将来的な重要課題であると認識し、将来にわたり市民ニーズに対応した行政サービスを安定的に提供していくため、「八王子市公共施設白書・公共施設マネジメント基本方針」と「八王子市公共施設等総合管理計画」を策定し、公共施設マネジメントの取組を進めています。

公共施設は市民の皆様の財産であることから、公共施設の有効活用や適正配置といった公共施設マネジメントの取組を具体的に進める際の資料として活用するため、市政モニターの皆様のご意見をお伺いします。

※『公共施設更新問題』とは…

(1)公共施設の整備背景と老朽化について

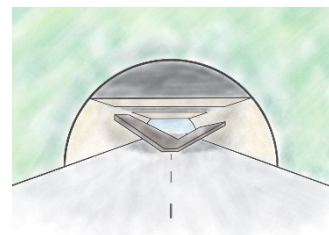
昭和40年代から昭和50年代の高度成長期に、人口急増に伴う行政需要に応えるため、学校教育施設をはじめとした様々な公共建築物や道路、下水道といったインフラ施設の整備を一斉に行いましたが、これら公共施設等の老朽化が進み、今後、改修や更新の時期を一斉に迎えることになります。

(2)社会環境の変化と公共施設更新に関する財源について

公共施設の改修や更新は、多額の費用が必要となりますが、その財源となる税収は、少子高齢化や人口減少によって大きな増加が見込めません。また、公共施設を一斉に整備してきた時代とは異なり、社会保障関連経費が増大しており、今後もその傾向は変わらないことが予想され、公共施設の改修や更新に関する財源確保が大きな課題となっています。

(3)公共施設マネジメントのきっかけ

平成24年(2012年)に起きた山梨県にある笹子トンネルの天井板落下の事故で、多数の死者・負傷者が出ました。この事故が施設の維持管理を見直す一つの要因となり、公共施設マネジメントが全国的に広まることになりました。



問1 あなたは、『公共施設更新問題』を知っていましたか。

(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
知っている	15.8
なんとなく知っている	37.9
知らない	44.2
【無回答】	2.1

『公共施設更新問題』を知っているか聞いたところ、「知らない」が 4 割台半ば(44.2%)と最も多く、次いで「なんとなく知っている」が 4 割近く(37.9%)であった。

問2 あなたは、八王子市が『公共施設更新問題』への取組として「八王子市公共施設白書・公共施設マネジメント基本方針」、「八王子市公共施設等総合管理計画」を策定していたことを知っていましたか。

(名称ごとに○は1つだけ)

枠内の数字は百分率(%)で表示。 は項目内で最高値。

(n=95)

名称	内容	名称・内容 ともに 知っている	名称 のみ 知っている	内容 のみ 知っている	名称・内容 ともに 知らない	【無回答】
八王子市公共施設白書・公共施設マネジメント基本方針	建物を中心とした八王子市の公共施設の現状を示し、コスト分析を行うとともに、施設にかかる将来のコストを試算したうえで、将来人口推計を踏まえ、現状の施設を維持していくことの困難さを明らかにした。 そのデータ分析を踏まえ、公共施設の今後の整備や管理運営、有効活用などの指針となる6つの柱からなる基本方針を策定したもの。	0.0	9.5	1.1	<u>87.4</u>	2.1
八王子市公共施設等総合管理計画	「八王子市公共施設白書・公共施設マネジメント基本方針」の内容を踏まえ、公共施設マネジメントを具体的に推進するために、3つの目標と、その目標を達成するための施設類型別の取組方針を示したもの。	0.0	8.4	2.1	<u>86.3</u>	3.2

問3 「八王子市公共施設白書・公共施設マネジメント基本方針」では公共施設にかかる将来の維持管理コストを試算したうえで、全ての施設を維持管理していくのは厳しい(※①)と分析しており、そのような公共施設の今後の指針として、「八王子市公共施設マネジメント基本方針」では6つの柱を策定しています。この6つの柱の進め方について、お聞かせください。

(方針ごとに○は1つだけ)

枠内の数字は百分率(%)で表示。□は項目内で最高値。

(n=95)

方針	積極的に進めるべき	進めるべき	あまり進めるべきでない	進めるべきではない	わからない	【無回答】
市民等との協働を進め、地域力を活かした施設の活用を推進	40.0	45.3	2.1	2.1	8.4	2.1
安全・安心の確保とライフサイクルコスト(※②)の縮減	31.6	44.2	6.3	0.0	15.8	2.1
機能移転・統合によりサービスを充実	26.3	57.9	4.2	0.0	9.5	2.1
公民連携を進め、地域や民間へ移譲	17.9	41.1	14.7	1.1	23.2	2.1
公平な利用機会の確保 (受益者負担の適正化等)	27.4	54.7	4.2	0.0	11.6	2.1
全庁的な推進体制の整備	29.5	47.4	0.0	0.0	21.1	2.1

※① 全ての施設を維持していくのが厳しいとは…

八王子市では、公共施設の将来の維持管理コストに30年間で約3,755億円が必要であると試算しています。一方で、平成25年(2013年)に支出した公共施設の維持管理コストは約93億円で、この実績額を30年間継続できるとした場合、約2,790億円が支出できることとなりますが、その場合、約965億円不足することになります。

※② ライフサイクルコスト(LCC)とは…

建物の建設から解体までにかかる経費の総額のこと、一般的には建設コストの約3倍程度が、ライフサイクルコスト(LCC)といわれています。

建物は、その建設コストに注目しがちですが、LCC全体では一部分に過ぎないため、「氷山の一角」に例えられます。



問4 「八王子市公共施設等総合管理計画」では、「八王子市公共施設マネジメント基本方針」に基づいて、公共施設マネジメントを推進するために、3つの目標を掲げています。この3つの目標の進め方について、お聞かせください。
(目標ごとに○は1つだけ)

枠内の数字は百分率(%)で表示。 は項目内で最高値。 (n=95)

目標	積極的に進めるべき	進めるべき	あまり進めるべきでない	進めるべきでない	わからない	【無回答】
人口構造やニーズの変化に合わせ、施設を適正に配置する。	40.0	49.5	1.1	0.0	7.4	2.1
現在の市民1人当たり延床面積(※①)を、将来にわたり維持する。	10.5	49.5	14.7	5.3	18.9	1.1
人口規模に合った施設総量の適正化(※②)を図る。	27.4	56.8	1.1	4.2	9.5	1.1

※① 現在の市民1人当たり延床面積とは…

「八王子市公共施設等総合管理計画」策定時の基準(平成27年度(2015年度))とした八王子市の市民1人当たり延床面積は、2.03 m²/人となります。この2.03 m²/人とは、多摩26市の平均である2.02 m²/人とほぼ同じで、東京都近郊の中核市とも同程度の水準となっています。

このことから当時の八王子市の施設規模は、人口規模に応じたものであるとして、将来にわたって維持していく施設総量の基準としています。

令和2年度(2020年度)においては、市民1人当たり2.04 m²/人と基準値より増加しています。0.01 m²/人の増加は、全体で約5,600 m²増加したことに等しく、小学校約1校分が増加したと言い換えることができます。

※② 人口規模に合った施設総量の適正化とは…

市民1人当たり延床面積に合わせて適正化するには、将来の人口推計を考慮する必要があります。平成27年(2015年)10月に策定した「八王子市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、八王子市の将来人口を4つのパターンでシミュレーションしています。一番人口減少が進んだ場合の「シミュレーション1」では、令和27年(2045年)に今より約20%減少する可能性を示しているため、その人口規模に合わせた施設総量の適正化を考えていく必要があります。

問5 「八王子市公共施設等総合管理計画」では、公共施設マネジメントの具体的な取組の1つに『学校施設の複合化』(※)を推進していくこととしています。また学校施設の複合化にあたって、効果がある施設例を挙げていますが、あなたの考え方に近いものをお聞かせください。

(施設例ごとに○は1つだけ)

枠内の数字は百分率(%)で表示。 は項目内で最高値。

(n=95)

施設例	積極的に複合化すべき	できれば複合化すべき	あまり複合化するべきでない	複合化するべきでない	わからない	【無回答】
保育園、幼稚園、こども園	33.7	<u>34.7</u>	20.0	5.3	5.3	1.1
学童保育所	<u>41.1</u>	40.0	9.5	2.1	5.3	2.1
コミュニティ施設(市民センター等)	28.4	<u>41.1</u>	20.0	4.2	3.2	3.2
福祉施設(高齢者福祉施設、障害者福祉施設)	24.2	26.3	<u>29.5</u>	6.3	12.6	1.1
図書館	<u>41.1</u>	36.8	9.5	8.4	3.2	1.1
スポーツ施設	33.7	<u>34.7</u>	14.7	9.5	5.3	2.1

※『学校施設の複合化』とは…

八王子市では、学校施設を複合化(同じ建物内に学校と他の施設を併設)すると、学習環境の高機能化・多機能化や児童・生徒の多様な世代との交流、学校の教育活動等を支える専門性のある人材の活用など、様々な効果が生まれると考えています。そこで、学校施設複合化の基本理念を以下のとおり定めています。

～ 地域の拠点である学校施設の更なる活用を図り、より身近な公共施設へ ～

問6 学校施設を活用して、できればよいと思う活動等がありましたら、ご記入ください。(自由記述)

《コミュニティの場として活用》

- 地域住民の交流の場。体育館でバザー等。 (30 歳代)
- コミュニティスクールのような教育講座の開設。 (50 歳代)
- 日本は自然災害が増加しているので、何か対応可能なコミュニティの場所として利用。 (60 歳代)
- 体育館等を利用して、ミニコンサートなどを企画し、地域の交流が図れれば良い。 (60 歳代)
- 避難施設、道具等の保管所やラジオ体操、老人運動場として活用。 (70 歳代)
- 地域住民との交流や保育園、幼稚園児、小・中・高生との交流など。 (70 歳代)
- 学校は税金で建設され、徒歩圏内に必ずある。例えば少子化により学級数が少なくなった学校は、一階を市民センターや保育園、図書館、その他市民活動に使えるよう教室の配置換えをし、地域住民のコミュニティスペースとして活用できるようにして欲しい。プール、運動場についても、親子で遊べる運動公園のような運営を望む。 (70 歳代)
- 地域の人と学校との交流。地域でいろいろな趣味や特技を持っている人と、児童や生徒との交流に生かしたらどうか。 (70 歳代)

《趣味の活動として活用》

- シニア層向けのカルチャーイベント、スキルアップイベント等。 (20 歳代)
- 美術館やコンサートホール（聞くのはもちろん、自分たちも歌ったり踊ったり）等。小中学生時代にこのような場所に行く機会がなかったので、機会を増やしてあげたい。 (30 歳代)
- コロナが終息したら大人が楽しめるような機会を作って欲しい。 (40 歳代)
- お料理教室やプロスポーツ選手との交流会、祭り・イベントで使用する。歴史博物館の増設、小・中・高生の合同教室（勉強の場）、ワクチンなどの大型接種会場。 (40 歳代)
- グラウンドの利用。 (70 歳代)
- ボーイスカウト等の育成団体の利用。 (40 歳代)
- テレワークの場所等、スペースの貸し出し。 (40 歳代)
- スポーツサークル。在校生の家族以外も利用できるようなと良い。 (50 歳代)
- 市民や高齢者の文化活動に活用。 (50 歳代)
- 教室は、お店として、防音機能のある音楽室は、スタジオとして貸し出すなど、廃校施設の活用ができる面白い。また、学生のための自習室（図書館やカフェの代わり）も立地が良ければ集まると思う。 (50 歳代)

《市の事業・イベントなどに活用》

- 市長を中心とし、現在の八王子市の取組み、課題を講演する。市民から見て市長や市議会議員は身近に感じられない。選挙のときのみ PR して、その他のときは何をしているのかさえない。市報のみでは限界があり、SNS の活用や市民への直接対話を増やすべきと思う。 (40 歳代)
- 安全が確保できるということを前提で、図書館、スポーツ施設、その他文化的な施設。市民センターなどは、学生にとって有益ではないと感じる。どちらかのメリットだけではダメ。双方にとってプラスになることを考えるべき。 (50 歳代)
- 今はワクチン接種の会場にもっと使っても良いのでは。 (60 歳代)
- 学校別施設貸し出し一覧作成など、活用して欲しい姿勢を作れば良い。 (70 歳代)

《その他》

- 今はコロナ禍なので、できればあまり活用しない方が望ましい。(40 歳代)
- 今も活用されていると思う。(50 歳代)
- 安全の問題もあるが、もっと学校施設を解放して欲しい。(60 歳代)
- 地域に小中学校がなく、また、公共施設も近くにない。文化的交流のチベットだと思っている。(70 歳代)
- 今は特に思いつかないが、これを機会に少し考えてみたい。(70 歳代)

問7 少子高齢化や人口減少の進展を踏まえ、「八王子市公共施設等総合管理計画」の3つの目標を達成しようとする、公共施設の廃止や面積縮減となる再編を進める必要があります。その場合の施設の重要度や必要度が高い場合は5、低い場合は1とし、あなたの考えを点数で表してください。また、利用頻度についてもお聞かせください。

(施設名称ごとの区分①・②に○は1つずつ)

①重要度・必要度

枠内の数字は百分率(%)で表示。□は項目内で最高値。

(n=95)

施設名称	構成比(%)						
	1	2	3	4	5	わからない	【無回答】
文化施設(ホール等)	8.4	7.4	28.4	30.5	20.0	2.1	3.2
生涯学習施設	8.4	12.6	26.3	28.4	13.7	7.4	3.2
図書館	9.5	6.3	16.8	23.2	43.2	0.0	1.1
博物館・史跡等	10.5	10.5	29.5	18.9	25.3	2.1	3.2
コミュニティ施設 (市民センター等)	7.4	9.5	20.0	35.8	24.2	2.1	1.1
スポーツ施設	6.3	8.4	29.5	22.1	30.5	2.1	1.1
子育て支援施設 (保育園・児童館・学童等)	8.4	2.1	10.5	15.8	57.9	4.2	1.1
産業振興施設(観光等)	7.4	7.4	29.5	31.6	13.7	7.4	3.2
福祉施設	10.5	4.2	14.7	25.3	37.9	6.3	1.1

②利用頻度

枠内の数字は百分率(%)で表示。□は項目内で最高値。

(n=95)

施設名称	構成比(%)					
	週1回以上	月1回以上	年1回以上	利用しない	その他	【無回答】
文化施設(ホール等)	0.0	9.5	37.9	42.1	6.3	4.2
生涯学習施設	0.0	7.4	12.6	73.7	3.2	3.2
図書館	3.2	25.3	26.3	36.8	5.3	3.2
博物館・史跡等	0.0	4.2	40.0	43.2	7.4	5.3
コミュニティ施設 (市民センター等)	1.1	18.9	35.8	41.1	1.1	2.1
スポーツ施設	3.2	16.8	16.8	58.9	2.1	2.1
子育て支援施設 (保育園・児童館・学童等)	10.5	2.1	8.4	72.6	5.3	1.1
産業振興施設(観光等)	1.1	4.2	25.3	63.2	2.1	4.2
福祉施設	0.0	8.4	6.3	80.0	3.2	2.1

【その他】 具体的に記入・入力があった内容

《文化施設》

- 2、3年に1回。
- コロナ禍のため、利用、参加はなくなった。
- 引っ越して来たばかりと、コロナ禍の状況で利用したことはないが、今後良いイベントなどがあれば利用したい。
- 以前、ピアノサークルに通っていた際は定期的に使用していた。このような活動の場を保持するためにも必要。
- 好みにあったことが開催されたときに使用する。
- 私自身は利用していないが、「多文化共生のまちづくり」の観点からも必要性はあると思う。

《生涯学習施設》

- 数年に1回。
- オンラインで十分。将来は更にオンライン化が加速すると思う。
- 生涯学習を通して地域の人たちとの繋がりができるので、高齢化社会では必要だと思う。

《図書館》

- 自分は利用していないが、必要な施設だと思う。小規模の図書館は多くなくても良いので、市の象徴となるような、様々な書籍が閲覧できる大きな図書館が整備されると良い。
- コロナ以前は週に1、2回利用していた。今は控えているが、状況が変われば以前のように利用すると思う。
- 引っ越して来たばかりで、自宅の近くに施設もないので利用したことはないが、近くにあれば利用したいと思う。
- 図書館は、自ら学びたいと思う人たちにとって大切な先人の知恵がつまった場所。金銭面で購入することが難しい方の助けにもなると思う。
- 図書館の本は古い本が多いので、ほとんど利用していない。ただし、古い本でも時代を超えて有用なものがあるので、著作権、コスト、需要の問題で実現は難しいかもしれないが、それらを電子化して、自宅からいつでも拝読できると良い。

《博物館・史跡等》

- 利用したことはある。
- これまでは利用したことがなかったが、今後利用したい。
- 学生時代に行った際に、地元の歴史を知ることは大切だと感じた。
- 遠足で行っただけで利用していない。
- 以前に行ったことはあるが、現在は利用していない。しかし文化遺産を保存・継承することは大切だと思う。
- 引っ越してきたばかりなのと、コロナ禍で利用したことはないが、社会状況が改善したら利用したいと思う。
- 利用していない。八王子というと東京富士美術館のイメージがあるが、郊外の高台にあるためか、利用しづらいイメージがある。美術以外の芸術（個人的には書道）や史料、史物などの展示があれば足を運ぶかもしれない。

《コミュニティ施設》

- これから高齢者が多くなると思うが、コミュニティ施設を通じて人とのつながりができるので、必要性はあると思う。

《スポーツ施設》

- 八王子は大学や学校なども多く、学生が多く住んでいるため、スポーツ施設は減らさない方が良い。
- 以前は、「エスフォルタアリーナ八王子」を利用していたが、コロナが流行ってから利用していない。コロナが終息すれば、また活用したい。「エスフォルタアリーナ八王子」は八王子のスポーツ施設の象徴なので残して欲しい。

《子育て支援施設》

- 自分は利用していないが、少子高齢化を懸念するなら、まず子どもを育てやすい環境作りからと考える。
- 自分では利用しないが、家族が利用しているので重要。
- 独身のため、まだ利用してない。
- 自分の子どもは大きいため利用しないが、小さい子どもがいる家庭にとっては重要。

《産業振興施設》

- 引っ越してきたばかりなのと、コロナ禍で利用したことはないが、社会状況が改善したら利用したいと思う。
- 民間ですが、相模原には「さがみはら産業創造センター」が存在するが、八王子にはそれに匹敵する大規模な産業振興施設がない。八王子にはコワーキングスペースは複数あるが、それよりも少し大きなレンタルオフィス（格安）があれば利用したい。

《福祉施設》

- 福祉施設に勤務している。
- 今のところ利用していないが、高齢化社会では、今後、より重要度は高くなると思う。

【問7で施設別の『②利用頻度』について、「利用しない」をひとつでも選んだ方に】

問 8-1 問7で、施設別の利用頻度について、「利用しない」をひとつでも選んだ方にお聞きします。公共施設を利用しない理由のうち、あなたの考え方に最も近いものをお聞かせください。

(○は1つだけ)

(n=80)

	構成比(%)
施設を利用する必要がない	80.0
利用方法が分からない	8.8
利用したい施設がない	6.3
利用するまでに手間がかかる	3.8
その他	0.0
【無回答】	1.3

施設の『利用頻度』で「利用しない」をひとつでも選んだ方に、利用しない理由のうち、あなたの考え方に最も近いものを聞いたところ、「施設を利用する必要がない」が 8 割(80.0%)と最も多く、次いで「利用方法が分からない」が 1 割近く(8.8%)であった。

【問7で施設別の『①重要度・必要度』について、「4」または「5」をひとつでも選んだ方に】

問 8-2 問7で、施設別の重要度・必要度について、「4」または「5」にひとつでも○をつけた方に質問です。将来、人口減少に伴い、財政がひっ迫し、公共施設の維持管理等に費用がかけられなくなった場合に公共施設を存続していくにあたり、あなたが重要または必要だと思う施設に、どのように協力できるかお聞かせください。

(○は1つだけ)

(n=90)

	構成比(%)
クラウドファンディングや寄付等のお金の支援	35.6
美化活動(清掃・植栽の手入れ・除草)	31.1
公共施設でのサービス支援(例:施設の貸出受付等)	20.0
駐車場・駐輪場の整理	3.3
その他	1.1
協力しない(⇒ 問8-2-1)	5.6
【無回答】	3.3

施設の『重要度・必要度』で「4」または「5」をひとつでも選んだ方に、公共施設の維持管理等に費用がかけられなくなった場合、あなたが重要または必要だと思う施設に、どのように協力できるか聞いたところ、「クラウドファンディングや寄付等のお金の支援」が3割台半ば(35.6%)と最も多く、次いで「美化活動(清掃・植栽の手入れ・除草)」が3割強(31.1%)であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

○ パソコンを使った業務の手伝い。Officeを使った資料作成や、簡単な自動化ツールの作成などではできと思う。選択肢1～4も、会社を退職した後、元気なうちは協力できる。

【問8-2で「6 協力しない」とお答えの方に】

問8-2-1 問8-2で「協力しない」を選んだ方にお聞きします。施設を存続させるためには、施設維持とは異なる、市が提供している別のサービスをあきらめなければならないと仮にお考えください。あなたは、施設の存続のためにはどのサービスならあきらめてよいと思うか、お聞かせください。

(○は1つだけ)

(n=4)

	構成比(%)
生涯学習に関するもの	50.0
コミュニティ活動に関するもの	25.0
高齢者福祉に関するもの	0.0
障害者福祉に関するもの	0.0
児童福祉に関するもの	0.0
商工振興に関するもの	0.0
スポーツ活動に関するもの	0.0
その他	0.0
あきらめてよいサービスはない	0.0
【無回答】	25.0

公共施設を存続していくにあたり、あなたが重要または必要だと思う施設だとしても「協力しない」と回答した方に、施設の存続のためには別のどのサービスならあきらめてよいと思うか聞いたところ、「生涯学習に関するもの」が5割(50.0%)と最も多かった。

問9 新型コロナウイルス感染症への対策をきっかけに、テレワークをはじめとした人と人とのコミュニケーション方法に大きな変化が生まれようとしています。そこで、八王子市が持つコミュニティ施設や生涯学習施設といった対面によってコミュニケーションすることを前提とした公共施設について、あなたの考え方に近いものをお聞かせください。

(○は1つだけ)

(n=95)

	構成比(%)
今と同程度のコミュニティ施設や生涯学習施設が必要	38.9
今より多くのコミュニティ施設や生涯学習施設が必要	15.8
今よりコミュニティ施設や生涯学習施設は少なくてよい	23.2
わからない	15.8
その他	6.3

対面によってコミュニケーションすることを前提とした公共施設について、あなたの考え方に近いものを聞いたところ、「今と同程度のコミュニティ施設や生涯学習施設が必要」が4割近く(38.9%)と最も多く、次いで「今よりコミュニティ施設や生涯学習施設は少なくてよい」が2割強(23.2%)であった。

【その他】具体的に記入・入力があった内容

- 施設を利用する人はある程度決まっていて、多少の差異と施設運営の維持管理費のバランスの問題と思う。
- 小学校の通学範囲にあるのが理想。
- 対面によるコミュニケーションを前提とした施設にも、リモートで参加できる選択肢を設ければ良い。種類によっては可能だと思う。
- 対面によるコミュニケーションはもちろん重要だが、コロナ禍のような状況は今後も起こりうるので、必ずしも施設を必要としない学習の内容や活動について、ネットを活用したコンテンツの作成と、その利用のための助成制度などを検討していくことも必要。
- 今後、リモート利用が減ることはないと思うので、施設を発信拠点として活用し、対面と両方の利用ができると良い。
- ただ単に増やす減らすではなく、それぞれ必要性をよく考え、リモート等でも目的が達成できるものは無くしても良い。

問 10 その他、公共マネジメントの進め方について、ご意見がありましたらご記入ください。

(自由記述)

《施設運営の検討》

- 市役所の近くに広場があるが、(川の向こう側など)整備すればまだ広い場所になる。八王子には陵南公園や富士森公園などがあるが、そこには広く自由に遊べる場所がない。広場は、大人にとってのんびりできる場所で、子どもにとっては走り回れる場所になる。一部の場所でバーベキュー可能なエリアを作れば、有料だとしても人を呼べると思う。(30 歳代)
- 八王子は遊べる場所は少ないが、良い所は多くあるので、自転車のレンタルサイクルはどうか。八王子駅、図書館、富士森公園、陵南公園、高尾山、サイエンスドーム、八王子ラーメン巡りなど、自転車がここにあれば良いと思うことが多くある。八王子の景色を車からではなく、肌で直接感じて欲しい。秋の甲州街道や春の南浅川沿いを多くの人に見て欲しい。(30 歳代)
- 八王子は遊べる場所が少ない。友達と遊ぶ場所の選択肢が少ないので、立川や橋本に行くことになってしまう。映画館などが八王子にあると良い。(30 歳代)
- 若い人や子育て世代を増やしていくことが肝になるので、子どもたちを安心して預けられる施設の運営や、リタイヤした社会人等を活用し、学力だけではなく、社会性、専門性を学べる「人材」を育成できる魅力ある都市にしていければと思う。また、外国人への門戸開放も必要で、介護、医療への人材確保と適正な人口を維持し、持続的な市政運営につなげていくことも大切。(40 歳代)
- コロナ対策として、必要でない施設は閉鎖、休館するなどの対策も必要。(40 歳代)
- 若者の意見を聞いたり、様々な世代や多様な背景を持った人たちと話し合ったりする機会を持ち、新しい発想と創意工夫で財政難や人手不足を乗り切って欲しい。(50 歳代)
- 駐車場は専門業者にまかせ、かならず有料にする。少額でも入場料をもらう。(50 歳代)
- 今も将来も予算は限られているが、市民の生活を豊かにしていくという理想は無くしてはいけない。時代は進化しているので、今までには無かった技術を活用することや効率化を図ることについては賛成。目的を明確にし、今後の財政予想に悲観してレベルを下げるのではなく、むしろ様々なアイデアでレベルを上げていくというゴールを持つべき。(50 歳代)
- 展示は一回で飽きるかもしれないが、雰囲気は何度も味わいたいと思う。どの施設にも庭(テラス)等、再度訪れたい場所などを作る。(50 歳代)
- 大学が多くあるので、生涯学習と上手く連携できれば良い。(50 歳代)
- 住民議会への情報提供と合意形成が見える形で実施して欲しい。(60 歳代)
- 共同住宅密集地と戸別住宅密集地では公共施設への関心度が違う。市を単一で考えずに、エリア特色を考えた施策を望む。(70 歳代)

《誰もが利用しやすい施設》

- 子育て世代が生活しやすく、活気のある街となって欲しい。外国人も使いやすい公共施設にすることも必要。(40 歳代)
- 高齢の方にとっては対面のコミュニケーションが大切だと思うので、あらゆることがネット中心にならないよう願う。(50 歳代)
- 公共施設の利用は各年代で利用場所や回数に違いがある。利用方法もわからないので、問い合わせ先をもっとわかる様にして欲しい。(50 歳代)
- 手すりが少ない。(60 歳代)

- 高齢者の不参加。 (70 歳代)
- 新型コロナの緊急事態自粛で公共施設、集会所が閉鎖され貸し出し禁止となった。貸し出しが再開され、公共施設のありがたさを感じた。高齢者の心身の健康維持のために配慮して欲しい。 (70 歳代)

《施設の周知》

- 市民への発信力をさらに強めて欲しい。その上で(個人として)協力できることは積極的に協力、参画したいと思う人は多勢いる。 (20 歳代)
- どんな施設があって、何が利用できるか、市報とは別にハンドブックを配布する等、積極的にPRして欲しい。 (40 歳代)
- 生涯学習施設、産業振興施設とは具体的にどの施設にあたるのか、このアンケートだけでは良くわからない。 (50 歳代)
- 八王子は通勤圏でもあるが、テレワークでより移り住むことが可能になった。より魅力的で住みたい街にするため、多くの人に施設を理解してもらい、利用につなげて欲しい。 (70 歳代)

《利用しやすい場所に立地》

- 公共施設にお金をかけても、近くに住む一部の人しか利用していない。より多くの人が利用しやすい場所につくる等、現状の施設の場所も見直していく必要がある。 (30 歳代)
- 高齢化が進み、車を使わなくても利用できる場所に。 (50 歳代)
- 身近な所にあると利用しやすい。立派な施設を新しく建てるのではなく、空き家や自治会館を利用するのも良い。駅の近くの利用しやすい商業ビルの空室を借りるなど、市独自で建物を建設しなくても良い。 (70 歳代)

《デジタル化への推進》

- 図書館蔵書のデジタル化ができれば、コロナ禍において、多くの人が安全に本を読めると思う。 (20 歳代)
- あまり使用されない施設は無くしても良い。IT を利用した講座など、施設に行かなくても、家で気軽に参加できるものを作って欲しい。 (50 歳代)
- 箱ものへの投資よりも、デジタル化を推進して欲しい。公共施設はできるだけ民間に任せ、より付加価値の高いサービスを市民が受けられるよう、他都市が実施しているスマートシティなどの取組を八王子市でも企画、推進して欲しい。 (50 歳代)

《コストの確認》

- コストの算出方法が正しいのか不明。 (40 歳代)
- 少子化が加速する中で、不要なモノは徹底的に統合、廃止して、子どもたちに、負の遺産(借金)は残さない様にするべき。 (40 歳代)

《その他》

- 概念的に必要と思ったのでそう回答したが、もう少し具体的なことを勉強しておきたいと思う。 (30 歳代)
- 指導者(担当者)の育成。 (70 歳代)
- 甲の原体育館の休館 1 年は長い。 (70 歳代)

令和3年度(2021年度)市政モニター
アンケート結果
令和4年(2022年)2月

発行 八王子市総合経営部 広聴課
八王子市元本郷町三丁目24番1号
電話 042(620)7411(直通)
FAX 042(620)7322